

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画  
令和2年度事業点検・評価調書

4-Ⅱ-4

4-Ⅱ-4

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	バリアフリー機能の導入
節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	4 バリアフリー機能の導入	関連団体	県文化行政課、佐渡地域振興局企画振興部
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種施設や説明媒体におけるバリアフリー機能の導入により、様々な来訪者への利便性向上を図る。</li> </ul> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 説明媒体に展示や音声ソフトなどのバリアフリー機能を導入する。</li> </ul>		
	<p>【R2年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 史跡整備基本計画に基づき、個別事業の実施前に具体的なバリアフリー機能の導入に関する協議を行う。</li> </ul> <p>【R2年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 相川郷土博物館の保存修理事業に伴い、社会教育課(佐渡学センター)と施設玄関等におけるバリアフリー機能の導入の有無について協議を行った。</li> </ul>		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 鉱山遺跡という特質上、場所によってはバリアフリー導入が困難な場所もある。バリアフリー機能の代替が可能かどうか、また代替え方法をどのように整備すべきか検討する必要がある。</li> </ul>		
	<p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 史跡整備基本計画に基づき、個別事業の実施前に具体的なバリアフリー機能の導入に関する協議を行う。</li> </ul>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 [ a・<b>b</b>・c ]</p> <p>【事業実施の効果】 [ a・<b>b</b>・c ]</p> <p>【総合評価】 [ A・<b>B</b>・C ]</p> <p>◇ 本事業は、個別事業の実施時にバリアフリー機能の導入を検討していくものであり、令和4年度末までの累積的な目標は設定していないが、概ね計画どおりに進んでおり、一定の成果が得られていることからB評価とした。</p>		

a: 進んでいる。高い。  
b: 概ね順調。概ね適切。  
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。  
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。  
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。